

3年1組		指導者	〇〇〇〇	教科等	体育科
単元	単元名等		ゴール型ゲーム「タグラグビー」		
	目標		評価規準	※どちらかを選択し、<u>で囲ってください。</u>	
	知識及び技能		知識・技能	○タグラグビーの行い方について、言ったり書いたりしている。 ○ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ◆味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりすることができる。	
	思考力、判断力、表現力等		思考・判断・表現	○攻めを行いやすいようにするなどの規則を選んでいる。 ○ボールを持っている人とボールを持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んでいる。 ○パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりするときの工夫を友達に伝えている。	
	学びに向かう力、人間性等		主体的に学習に取り組む態度	○ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り、誰とでも仲良くしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ○友達の考えを認めようとしている。 ○場や用具の安全を確かめている。	
	単元の学習展開（全9時間）				
	導入	□学習の進め方の見通しをもつ			
展開	□基本的なボール操作を身に付け、ルールを覚える □チームに合った簡単な作戦を選ぶ				
終末	□これまで学習したことを活かしてタグラグビー大会をする				

本時 (5/全9時間)	ねらい	<u>タグラグビーのゲームを通して</u>、チームに合った作戦を選んだり、作戦に合った練習をしたりすることにより、<u>味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりする</u>ことができるようにする。 (下線部…単元の評価規準との関連【◆知・技 観察・ICT】)	
	学習過程	「めあて」 「チームに合った作戦を選んだり、チーム練習をしたりして、得点につながる動きをしよう」 「振り返り」 「[ぴったり作戦] で、〇〇さんがボールを持っている人の後ろにいつもいたのでよかった」 「ボールを持っていない人は『ヘイ』と呼ぶことに気をつけてチーム練習したので、タグを取られる前に友達にパスが出しやすかった」	
	児童生徒に対する手立て 努力を要する状況の	【予想されるつまずき】 ボールを誰もいないところに放り投げたり、トライしたりすることができていない	【必要な支援・手立て】 仲間を見てからボールの手渡しやパスをしたり、ボールを持つ人のすぐ後ろについて受け取ったりする等、周りの動きを把握できるような言葉かけや練習の支援を行う